

令和元年度 第1回 市民動物園会議

令和元年 5 月 21 日 (火)
1 5 : 3 0 から
円山動物園プラザ

< 次 第 >

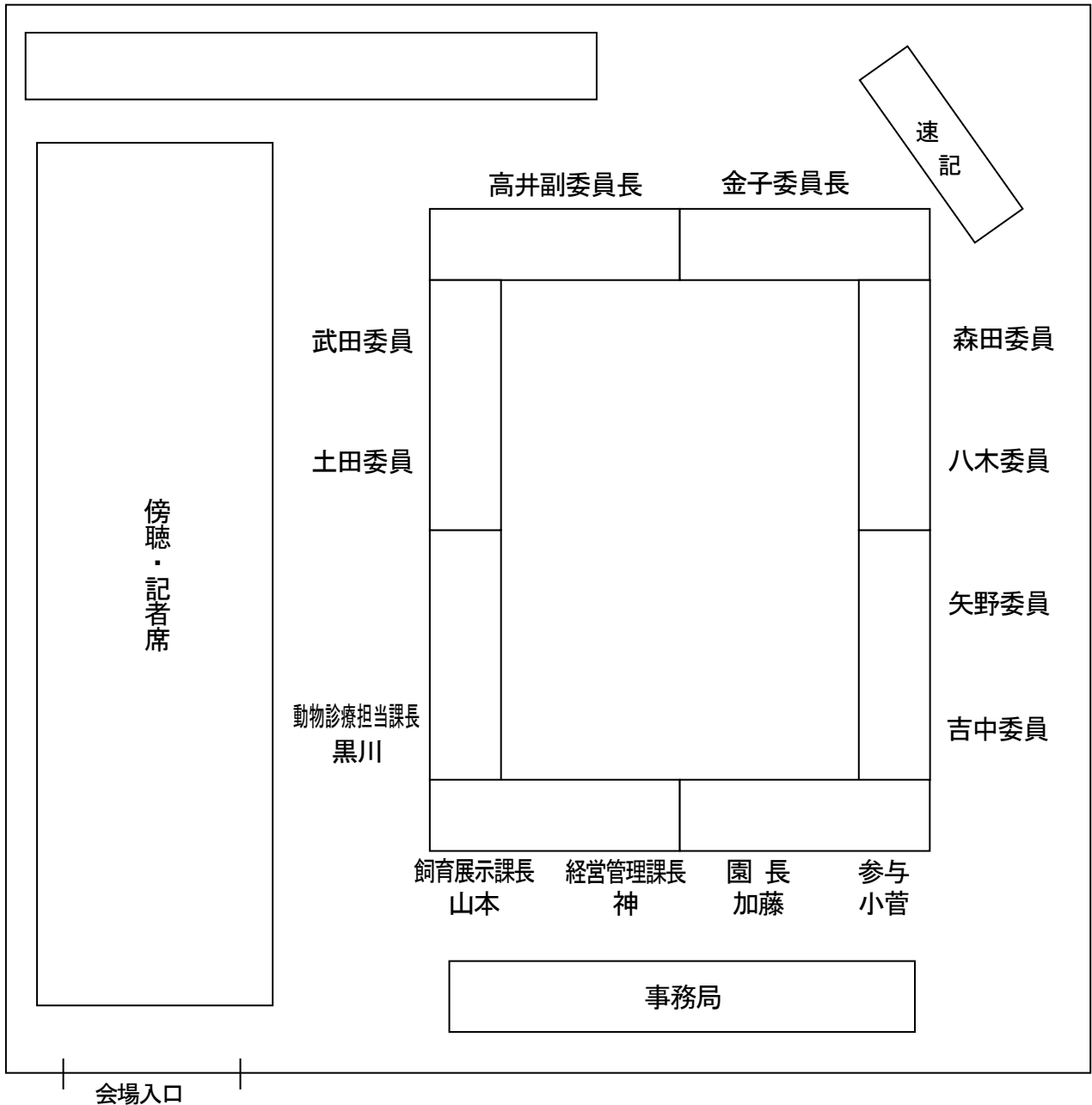
- 1 平成 30 年度来園者状況及び令和元年度予算について
- 2 ビジョン 2050・「実施計画」(仮称)について
- 3 動物園条例の制定について
- 4 新着動物等について
- 5 その他

【配布資料】

- 資料 1-1 平成 30 年度来園者状況
- 資料 1-2 令和元年度予算等概要
- 資料 2 ビジョン 2050・「実施計画」(仮称)について
- 資料 3 動物園条例の制定
- 資料 4 新着・出産・転出等動物

■令和元年度 第1回市民動物園会議 座席表

令和元年5月21日(火) 15:30~ 動物園プラザ



平成30年度来園者状況

◆月別合計入園者数比較

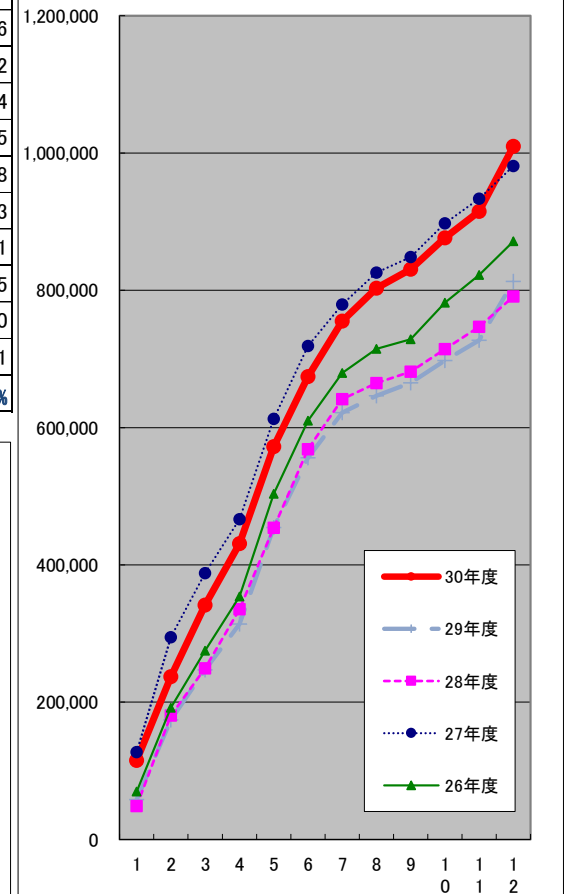
※夜間、後納分を含む。

◆累積グラフ

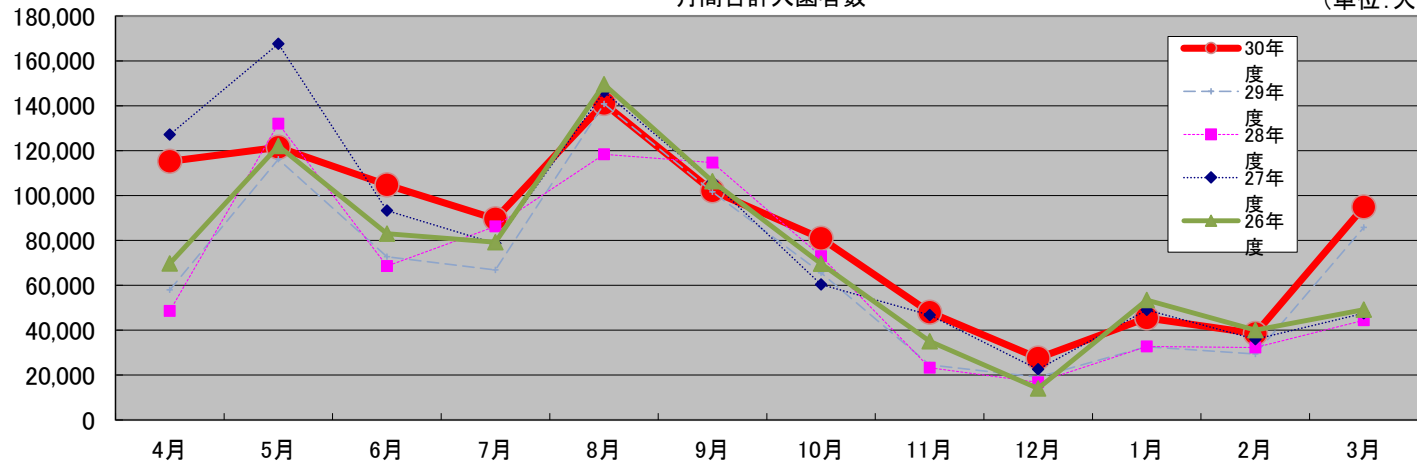
月計	30年度	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度
4月	115,292	57,997	48,625	127,120	69,728	63,370	61,201
5月	121,537	116,137	132,017	167,599	122,124	134,584	90,717
6月	104,696	72,752	68,591	93,286	82,960	117,092	79,708
7月	89,590	66,829	86,263	78,626	79,250	98,812	78,076
8月	141,008	140,834	118,414	146,182	149,537	152,823	119,222
9月	102,136	101,573	114,674	105,958	106,375	120,151	84,731
10月	80,921	65,549	72,941	60,403	69,560	75,758	60,943
11月	48,033	24,520	23,325	46,728	35,106	42,884	22,735
12月	27,570	19,093	16,760	22,530	14,027	19,729	17,388
1月	45,497	32,577	32,715	49,097	53,429	43,829	50,974
2月	38,495	29,426	32,303	36,021	40,055	44,759	41,065
3月	94,910	85,760	44,396	47,569	49,129	45,640	41,561
合計	1,009,685	813,047	791,024	981,119	871,280	959,431	748,321

累計	30年度	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度
4月	115,292	57,997	48,625	127,120	69,728	63,370	61,201
5月	236,829	174,134	180,642	294,719	191,852	197,954	151,918
6月	341,525	246,886	249,233	388,005	274,812	315,046	231,626
7月	431,115	313,715	335,496	466,631	354,062	413,858	309,702
8月	572,123	454,549	453,910	612,813	503,599	566,681	428,924
9月	674,259	556,122	568,584	718,771	609,974	686,832	513,655
10月	755,180	621,671	641,525	779,174	679,534	762,590	574,598
11月	803,213	646,191	664,850	825,902	714,640	805,474	597,333
12月	830,783	665,284	681,610	848,432	728,667	825,203	614,721
1月	876,280	697,861	714,325	897,529	782,096	869,032	665,695
2月	914,775	727,287	746,628	933,550	822,151	913,791	706,760
3月	1,009,685	813,047	791,024	981,119	871,280	959,431	748,321
前年度比	125.6%	102.8%	80.6%	112.6%	90.8%	128.2%	94.5%

累計入園者数 (単位:人)



月間合計入園者数 (単位:人)



令和元年度 予算等概要

(1) 歳入

(単位:千円)

科目	令和元年度 予算	平成 30 年度 予算	予算増減	備考
合計	322,782	278,630	44,152	
入園料	287,405	242,752	44,653	個人:311,501 人 団体:46,171 人 パスポート:75,572 枚
売店使用料	10,797	10,534	263	売店設置使用料
傷病鳥獣保護費	564	630	▲66	道委託金
寄附金	13,584	12,539	1,045	
広告料	2,809	3,026	▲217	
その他	7,623	9,149	▲1,526	売店光熱水費等

(2) 歳出

(単位:千円)

小事業名	令和元年度 予算	平成 30 年度 予算	予算増減	備考
合計	1,115,677	3,819,643	▲2,703,966	
動物園運営管理費	663,777	625,643	38,134	
動物園運営管理費	662,377	624,243	38,134	
動物園経営費	642,201	617,343	24,858	
動物園教育普及事業費	3,000	3,000	0	
円山動物園観光誘客事業	3,900	3,900	0	
種保存会議開催費	10,000	—	10,000	今秋開催予定
飼育展示課業務システム運営費	3,276	—	3,276	
野生動物復元事業費	1,400	1,400	0	
種の保存推進費	1,400	1,400	0	
動物園整備費	451,900	3,184,000	▲2,732,100	
動物園整備費	166,000	309,000	▲143,000	
園内小規模整備費	145,000	80,000	65,000	
高齢者障がい者に優しいハートフル園路整備費	—	27,000	▲27,000	
正門ロータリー再整備費	—	166,000	▲166,000	
監視カメラ設置費	21,000	36,000	▲15,000	
動物園基本計画事業費	285,900	2,875,000	▲2,589,100	
アジアゾウ導入費	6,900	62,000	▲55,100	海外専門家による研修
ゾウ舎建設費	279,000	2,813,000	▲2,534,000	バイオ醗酵処理施設
北海道胆振東部地震等対策費	—	10,000	▲10,000	
北海道胆振東部地震等災害復旧	—	10,000	▲10,000	
円山動物園災害復旧	—	10,000	▲10,000	H30.3 定補正

* 平成 30 年度補正予算を含む。

* 令和元年度の主要事業として、今年の秋に、日本動物園水族館協会との共催で「種保存会議」を開催する。

また、ミャンマーから来た 4 頭のゾウの飼育技術の向上のための研修を引き続き行う。

このほか、ゾウの糞を堆肥化するための施設の建設工事を行う。

ビジョン 2050・「実施計画」（仮称）について

1 概要

円山動物園では、2019年3月に、開園100年目である2050年に向けて、円山動物園が何を目指し、どのように進んでいくのか、また、そこで働く職員がその実現のために、何に取り組んでいくかについての方向性を定めた札幌市円山動物園基本方針「ビジョン2050」を策定した。

この「ビジョン2050」に基づく2019年度から2023年度までの5カ年の取り組みをまとめた実施計画を2019年度中に策定する。

2 実施計画策定に係る経緯

札幌市円山動物園基本構想に基づき、基本計画（平成19～28年度）及び基本計画改訂版（平成24～28年度）を策定し、その後、第2次基本計画（平成29～33年度）の策定に着手した。

しかしながら、平成27年7月のマレーグマの死亡事案や平成29年2月の不適正な契約事務の発覚など、円山動物園の運営に関して、様々な歪があることが判明するとともに、動物福祉や生物多様性の保全など、国内外の動物園を取り巻く環境や役割が構想当時から大きく変化してきたことから、基本計画（実施計画）の基となる新たな基本方針の検討が必要となり、第2次基本計画（平成29～33年度）の策定を凍結した。

3 スケジュール（想定）

2019年5月中旬	市民動物園会議
6月末	園内とりまとめ
7月末	環境局内検討
9月～11月	企画調整システム (市長副市長会議)
12月～	総務委員会、パブリックコメント

動物園条例の制定

1 目的

動物福祉を根幹とした持続可能な動物園運営を確立し、市民の財産である円山動物園の動物たちを守っていくため、基本方針ビジョン 2050 の基本理念「命をつなぎ 未来を想い 心を育む」に基づく取組を法的に規定する条例の制定を目指す。

※市長公約：種の保存や環境教育など動物園の役割を示し、動物福祉に配慮した運営をめざす「動物園条例」を制定する。

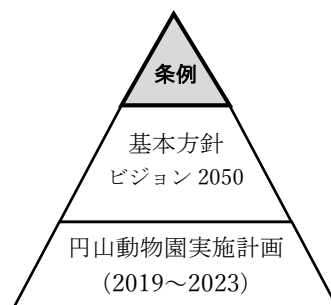
2 条例制定の必要性及び効果

動物福祉や生物多様性の維持など動物園を取り巻く環境や役割が大きく変化してきているが、国においては、動物園における動物福祉のあり方や設置運営に関する法的制度が十分に確立されていない。

また、本市においては、都市公園条例等で円山動物園に関する使用料など公園施設としての設置及び管理について定めはあるが、飼育動物に関して規定したものはない。

このため、円山動物園の役割や飼育動物に関して規定する条例を制定する必要がある。

この条例制定により、ビジョン 2050 の基本理念に基づく取組が市民の合意によって法的に規定され、動物福祉が持続的に担保される仕組みが確立される。



3 国・他都市の状況

動物園を規定する法律として、都市公園法、自然公園法、博物館法、動物愛護管理法などがあるが、いずれも設置に関する手続き的な定めであり、海外でみられる動物福祉や教育、環境教育、種の保存等の動物園運営の根幹となる理念を規定したものはない。

他都市においては、入園料等を定めた設置条例は見られるが、動物園における動物福祉を規定する条例は存在しない。

4 制定スケジュール（予定）



※起草委員会…市民動物園会議の部会として設置する予定。委員は7名～10名程度

主な転入・転出動物の状況（平成31年1月1日～令和元年5月19日）

月 日	内 容
3月20日	スローロリス 雄1頭搬出（熊本市動植物園へ）
3月20日	ホッキョクグマ 雌1頭搬出（豊橋総合動植物公園へ）
3月26日	アオダイショウ 6頭搬出（千歳市水族館へ）

主な死亡動物の状況

月 日	内 容
1月18日	オンドリ 雄1羽死亡
1月22日	ゴイサギ 1羽死亡
2月1日	アカツクシガモ 雄1羽死亡
2月4日	フンボルトペンギン 雌1羽死亡
2月12日	エボシカメレオン 雌1頭死亡
2月14日	ゴイサギ 1羽死亡
3月12日	シロフクロウ 雄1羽死亡
4月8日	ニホンザル 雄1頭死亡
5月8日	シンリンオオカミ 雄1頭死亡

主な繁殖動物の状況

月 日	内 容
2月23日	ハイイロカンガルー 1頭繁殖
2月27日	ハイイロカンガルー 1頭繁殖
3月7日	オグロプレーリードッグ 5頭繁殖
3月13日	ハイイロカンガルー 1頭繁殖
5月4日	エゾモモンガ 2頭繁殖
5月11日	スローロリス 1頭繁殖